

本 書 題	著 者 所	刊 行 年 月	刊 行 日	刊 行 時	刊 行 地	刊 行 所	刊 行 人	刊 行 處
[Redacted]	卷之二 同記	張世傳錄府無泊擊命隊策即孔	張孔九一	一學水兵	路三。一宅	路三。一宅	路三。一宅	路三。一宅
[Redacted]	吳二國民兵使	吳二國民兵使	吳二國民兵使	吳二國民兵使	吳二國民兵使	吳二國民兵使	吳二國民兵使	吳二國民兵使
[Redacted]	水兵	水兵	水兵	水兵	水兵	水兵	水兵	水兵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

42

死
改
用
調
書

三十七日校曲



②

現況不明者究明調書

(調査期日 7月7日 場所 鶴岡)

姓名索引	部	隊	等級・身分	氏名
60日五十一警二曹				[Redacted]
出身府縣	所管復員局	方	面	大経帯號・軍属は混雑元
[Redacted]	二・横・吳・佐・	千	島	
備考	五十一警二曹・国自軍進の爲に人令傳變外五十六隻の船中に乗 海防軍艦隊の如く此片岡海軍に出発した。八ヶ敷警二曹は傳變 死に就き生存者は五十一警二曹に救助され再び片岡に居た。此の如く が目的と同じく傳變死に便東江。君は生存者の中に現るが如く水 其の後片岡で避難者の合同隊となりた。何れも多数が多く名前が 覚えられし方が此の君は其の時ハ戦死若く入江して居る事不明 達しな。と自れが思ふ。(此ク下同項死体作十島に警署法に之 事を知りてゐる) 下記二名は記事同防死			
家族	住	所	級	氏名
復員者	住	所	部隊等級 分ノ警 二曹	氏名
調査官	世話課			
所見	戦死認定手當と認めらる 但し [Redacted] の記事出所について調査要す			

鶴岡地方復員残務處理部

昭和二十一年七月一日

1. 本調書は甲號一、乙號三を調製する
2. 甲號……總べて調査官にて記入し(鉛筆書にて可) 御本人に送付する
3. 乙號……御本人にて甲號により三通調製
調査世話課へ一通
所管復員局へ一通
同 世話課へ一通(復員局經由) } 送付する
4. 添付は御本人で記入する

168

②

現況不明者究明調書

(調査期日 7月 7日)
場所 鶴岡市

姓名索引	部	隊	等級・身分	氏	名
	60日五丁一警上 由			[REDACTED]	
出身所	所	管	復員局	方	面
	[REDACTED]			二・横・奥・佐・(20)	千島
中世	五丁一警第一國用戦道の為ス。6.15 博愛丸外五十六隻の船団に 東海軍艦隊の襲撃を受け、片岡清太郎少佐以下乗組員等五隻に降 伏せ、生き残者は五丁一警第一艦隊に救助され、片岡に送られた。				
	丁あきと自ら同じく博愛丸に便乗し、[REDACTED]君は生存者中に見當 らぬ。其の後片岡で遭難者の合同葬をせよと申し渡され、 多くの名前が覚えられ、[REDACTED]君も其の時の戦死者に入つて 居ることは間違いないと自らは思ふ。				
家族	住	所	職	氏	名
	[REDACTED]				
復員者	住	所	部隊等級	氏	名
	[REDACTED]			五丁一警 二・由	[REDACTED]
世帯	[REDACTED]				
	戦死認定申請と認めらる				
調査官	[REDACTED]				
所見	[REDACTED]				

1. 本調査は甲號一、乙號三を調査する
2. 甲號…… 越へて調査官にて記入し（鉛筆書にて可）郵復人に送付する
3. 乙號…… 郵復人にて甲號により三返調査
調査世話員へ一返
所管復員局へ一返
調査世話員へ一返（復員局経由） } 送付する
※ 必要は郵復入で記入する

②

舞鶴地方復興務處理部

6284

現況不明者究明調書 (調査期日 7月 7日 場所 鶴岡)

姓名	名	氏	等級・肩分	部	名
6/日	五十一警	=	曹	[Redacted]	
出身府縣	所管復員局	方	面	入籍番號・軍屬は横濱元	
[Redacted]	二・横・見・佐・[Redacted]	千	島		
申告書	五十一警事=同目報連の為スルハ、今博愛丸外五、六隻ヲ捕獲シテ海防艦隊に送リ、片岡君ヲ出港シタリ。此ノ故ニ博愛丸ヲ没生存者ハ五十一警事、船中救助ニ付片岡君ノ死シタルヲ自告トシ、博愛丸便乗シテ、君ハ生存者中に見當ラレタリ。其ノ後片岡君遺骸者ノ合同葬ニマツルコト何カモ決断ガ多ク名前ハ覺人ナレバツタガ、君モ其ノ時ノ戦死者に入リ居ル事ハ間違ハズ、取仕見込 以下記四名ハ記事同様デアル 上曹 [Redacted] 上曹 [Redacted] [Redacted] = 曹 [Redacted]				
家族	住	所	種別	氏名	
復員者	住	所	種別等級	氏名	
	[Redacted]	[Redacted]	6/警事 =	[Redacted]	
世帯主	我從誕生至富、認メテ U				
役官					
所見					

1. 本調査は甲號一、乙號三を調製する
2. 甲號……總べて調査官にて記入し（鉛筆書にて可）郵便入に送付する
3. 乙號……郵便入にて甲號により三通調製。
調査世話課へ一通
所管復員局へ一通
同 世話課へ一通（復員局経由） } 送付する
4. 添附は郵便入で記入する

①

現況不明者究明調書 (調査期日 7月7日 場所 鶴岡)

姓	名	部	隊	等	級	身	分	氏	名
6/1	五十一	警	水	長					
出身	府	縣	所	管	復	員	局	方	面
					二	復	員	局	千島
申告事項	五十一警第一團日戦後、6.18博愛丸外五十六隻の船団が海に沈没した。片岡瑞幸は、6.18夜千島四院で敵軍と遭遇し、博愛丸に沈没した。他の船も大分沈没した。生存者は、五十一警第一團に救助された。自分も同じ博愛丸に乗った。生存者中に見当りつかなかった。生存者は救助後、又片岡に戻り、其の後同地で避難者の合同葬儀を行った。陳の霊と会った。確かに見たので、戦後は間違いない。これは、五十一警第一團であり、同郷人であり、又同期に在る。これ同部隊に所属。これに、関係と自分も親しい。いすである。								
家族	住	所	職	柄	氏	名			
復員者	住	所	部隊等級	氏	名				
調査官	お 戦後五當認めらる								

洋人 朝鮮地方 残務處理部

1. 本調書は甲號一、乙號三を調製する
2. 甲號一… 總べて調査官にて記入し（鉛筆書にて可）郵復人に送付する
3. 乙號三… 郵復人にて甲號一より三通調製
 - 調査世話課へ一通
 - 所管復員局へ一通
 - 局世話課へ一通（復員局経由）
 送付する
4. ※備考は郵復人で記入する

58

1. $\frac{1}{2}$ 2. $\frac{1}{3}$ 3. $\frac{1}{4}$ 4. $\frac{1}{5}$ 5. $\frac{1}{6}$ 6. $\frac{1}{7}$ 7. $\frac{1}{8}$ 8. $\frac{1}{9}$ 9. $\frac{1}{10}$ 10. $\frac{1}{11}$ 11. $\frac{1}{12}$ 12. $\frac{1}{13}$ 13. $\frac{1}{14}$ 14. $\frac{1}{15}$ 15. $\frac{1}{16}$ 16. $\frac{1}{17}$ 17. $\frac{1}{18}$ 18. $\frac{1}{19}$ 19. $\frac{1}{20}$ 20. $\frac{1}{21}$ 21. $\frac{1}{22}$ 22. $\frac{1}{23}$ 23. $\frac{1}{24}$ 24. $\frac{1}{25}$ 25. $\frac{1}{26}$ 26. $\frac{1}{27}$ 27. $\frac{1}{28}$ 28. $\frac{1}{29}$ 29. $\frac{1}{30}$ 30. $\frac{1}{31}$ 31. $\frac{1}{32}$ 32. $\frac{1}{33}$ 33. $\frac{1}{34}$ 34. $\frac{1}{35}$ 35. $\frac{1}{36}$ 36. $\frac{1}{37}$ 37. $\frac{1}{38}$ 38. $\frac{1}{39}$ 39. $\frac{1}{40}$ 40. $\frac{1}{41}$ 41. $\frac{1}{42}$ 42. $\frac{1}{43}$ 43. $\frac{1}{44}$ 44. $\frac{1}{45}$ 45. $\frac{1}{46}$ 46. $\frac{1}{47}$ 47. $\frac{1}{48}$ 48. $\frac{1}{49}$ 49. $\frac{1}{50}$ 50. $\frac{1}{51}$ 51. $\frac{1}{52}$ 52. $\frac{1}{53}$ 53. $\frac{1}{54}$ 54. $\frac{1}{55}$ 55. $\frac{1}{56}$ 56. $\frac{1}{57}$ 57. $\frac{1}{58}$ 58. $\frac{1}{59}$ 59. $\frac{1}{60}$ 60. $\frac{1}{61}$ 61. $\frac{1}{62}$ 62. $\frac{1}{63}$ 63. $\frac{1}{64}$ 64. $\frac{1}{65}$ 65. $\frac{1}{66}$ 66. $\frac{1}{67}$ 67. $\frac{1}{68}$ 68. $\frac{1}{69}$ 69. $\frac{1}{70}$ 70. $\frac{1}{71}$ 71. $\frac{1}{72}$ 72. $\frac{1}{73}$ 73. $\frac{1}{74}$ 74. $\frac{1}{75}$ 75. $\frac{1}{76}$ 76. $\frac{1}{77}$ 77. $\frac{1}{78}$ 78. $\frac{1}{79}$ 79. $\frac{1}{80}$ 80. $\frac{1}{81}$ 81. $\frac{1}{82}$ 82. $\frac{1}{83}$ 83. $\frac{1}{84}$ 84. $\frac{1}{85}$ 85. $\frac{1}{86}$ 86. $\frac{1}{87}$ 87. $\frac{1}{88}$ 88. $\frac{1}{89}$ 89. $\frac{1}{90}$ 90. $\frac{1}{91}$ 91. $\frac{1}{92}$ 92. $\frac{1}{93}$ 93. $\frac{1}{94}$ 94. $\frac{1}{95}$ 95. $\frac{1}{96}$ 96. $\frac{1}{97}$ 97. $\frac{1}{98}$ 98. $\frac{1}{99}$ 99. $\frac{1}{100}$ 100. $\frac{1}{101}$ 101. $\frac{1}{102}$ 102. $\frac{1}{103}$ 103. $\frac{1}{104}$ 104. $\frac{1}{105}$ 105. $\frac{1}{106}$ 106. $\frac{1}{107}$ 107. $\frac{1}{108}$ 108. $\frac{1}{109}$ 109. $\frac{1}{110}$ 110. $\frac{1}{111}$ 111. $\frac{1}{112}$ 112. $\frac{1}{113}$ 113. $\frac{1}{114}$ 114. $\frac{1}{115}$ 115. $\frac{1}{116}$ 116. $\frac{1}{117}$ 117. $\frac{1}{118}$ 118. $\frac{1}{119}$ 119. $\frac{1}{120}$ 120. $\frac{1}{121}$ 121. $\frac{1}{122}$ 122. $\frac{1}{123}$ 123. $\frac{1}{124}$ 124. $\frac{1}{125}$ 125. $\frac{1}{126}$ 126. $\frac{1}{127}$ 127. $\frac{1}{128}$ 128. $\frac{1}{129}$ 129. $\frac{1}{130}$ 130. $\frac{1}{131}$ 131. $\frac{1}{132}$ 132. $\frac{1}{133}$ 133. $\frac{1}{134}$ 134. $\frac{1}{135}$ 135. $\frac{1}{136}$ 136. $\frac{1}{137}$ 137. $\frac{1}{138}$ 138. $\frac{1}{139}$ 139. $\frac{1}{140}$ 140. $\frac{1}{141}$ 141. $\frac{1}{142}$ 142. $\frac{1}{143}$ 143. $\frac{1}{144}$ 144. $\frac{1}{145}$ 145. $\frac{1}{146}$ 146. $\frac{1}{147}$ 147. $\frac{1}{148}$ 148. $\frac{1}{149}$ 149. $\frac{1}{150}$ 150. $\frac{1}{151}$ 151. $\frac{1}{152}$ 152. $\frac{1}{153}$ 153. $\frac{1}{154}$ 154. $\frac{1}{155}$ 155. $\frac{1}{156}$ 156. $\frac{1}{157}$ 157. $\frac{1}{158}$ 158. $\frac{1}{159}$ 159. $\frac{1}{160}$ 160. $\frac{1}{161}$ 161. $\frac{1}{162}$ 162. $\frac{1}{163}$ 163. $\frac{1}{164}$ 164. $\frac{1}{165}$ 165. $\frac{1}{166}$ 166. $\frac{1}{167}$ 167. $\frac{1}{168}$ 168. $\frac{1}{169}$ 169. $\frac{1}{170}$ 170. $\frac{1}{171}$ 171. $\frac{1}{172}$ 172. $\frac{1}{173}$ 173. $\frac{1}{174}$ 174. $\frac{1}{175}$ 175. $\frac{1}{176}$ 176. $\frac{1}{177}$ 177. $\frac{1}{178}$ 178. $\frac{1}{179}$ 179. $\frac{1}{180}$ 180. $\frac{1}{181}$ 181. $\frac{1}{182}$ 182. $\frac{1}{183}$ 183. $\frac{1}{184}$ 184. $\frac{1}{185}$ 185. $\frac{1}{186}$ 186. $\frac{1}{187}$ 187. $\frac{1}{188}$ 188. $\frac{1}{189}$ 189. $\frac{1}{190}$ 190. $\frac{1}{191}$ 191. $\frac{1}{192}$ 192. $\frac{1}{193}$ 193. $\frac{1}{194}$ 194. $\frac{1}{195}$ 195. $\frac{1}{196}$ 196. $\frac{1}{197}$ 197. $\frac{1}{198}$ 198. $\frac{1}{199}$ 199. $\frac{1}{200}$ 200. $\frac{1}{201}$ 201. $\frac{1}{202}$ 202. $\frac{1}{203}$ 203. $\frac{1}{204}$ 204. $\frac{1}{205}$ 205. $\frac{1}{206}$ 206. $\frac{1}{207}$ 207. $\frac{1}{208}$ 208. $\frac{1}{209}$ 209. $\frac{1}{210}$ 210. $\frac{1}{211}$ 211. $\frac{1}{212}$ 212. $\frac{1}{213}$ 213. $\frac{1}{214}$ 214. $\frac{1}{215}$ 215. $\frac{1}{216}$ 216. $\frac{1}{217}$ 217. $\frac{1}{218}$ 218. $\frac{1}{219}$ 219. $\frac{1}{220}$ 220. $\frac{1}{221}$ 221. $\frac{1}{222}$ 222. $\frac{1}{223}$ 223. $\frac{1}{224}$ 224. $\frac{1}{225}$ 225. $\frac{1}{226}$ 226. $\frac{1}{227}$ 227. $\frac{1}{228}$ 228. $\frac{1}{229}$ 229. $\frac{1}{230}$ 230. $\frac{1}{231}$ 231. $\frac{1}{232}$ 232. $\frac{1}{233}$ 233. $\frac{1}{234}$ 234. $\frac{1}{235}$ 235. $\frac{1}{236}$ 236. $\frac{1}{237}$ 237. $\frac{1}{238}$ 238. $\frac{1}{239}$ 239. $\frac{1}{240}$ 240.

6287

現
說
證
明
書

元海運不十二聲備陳
徵傳給第三朝洋元
機周長

第五朝津丸船長
於寺殿燔擊中敵艦二當
船和三年正月十日戰死也
月右註明又

后

庚午年

吳人第五

學地方官員個人事

現況不明 雲南縣志書（昭和八年）

居住所

大村

氏名

人翰香齋

所

利便丸 每服半匙 氏名

毒入

時技軍

敬告



以明節義

野子

●

1998

無升

序

[illegible]

一、
金
新
中

卷之四

成煥子

...the ...

10

外
以
強

品

10

10

2000

1890

2

10

卷之五

10

11

第一、保証事項は指定でも結構ですから記入して下さい

116

元海軍軍屬未復員者調查票

連絡番号	又派遣元名	身	氏	名	生年月日	本現住所
	新地海軍(争部)	軍				新地海軍(争部)
留守担当者	統	氏	名	現	住	所
	軍					
家族の承知されてゐる情况						
職名	司、政官、職氏、書記、技(使す) 等手、工員、船長、甲板員、 の別を記入して下さい(食糧取扱員)			内所乗出船年月日、場 下りすなわち船名、行先がわ かれば記入して下さい		
用途、別、使用、現地探	土心			家族受領の情况と 取扱つてゐる経理 部を記入して下さい		
採用又は採用年月日 及部隊名 (船員は船名及船主)	昭和十九年九月一日入隊 新地海軍(争部)			昭和十九年九月一日入隊 新地海軍(争部)		
外地勤務の部隊名及 場所	馬場新地海軍(争部)			馬場新地海軍(争部)		
本人からの最後の手 紙に就いて御記入下 さい	差出日附()年()月()日 部隊番号() 受領年月日()年()月()日 検閲者印() 内容			一、部隊長から何か通 知がありましたか 二、艦長から何か通 知がありましたか 三、其の他のところか ら何か通知があり ましたか 四、以上を記入した人の住所 を記入して下さい 五、其の他本人に就いて 参考になることを事 実として記入して下さい		
帰還者からの情報(自願者の方は本欄に未処置者個人に對すること、 自分の意思でなした部隊の情報を記入して下さい)						
未処置者個人に對する情報				帰還者の属してゐた部隊の情報		
情報提供者	部隊	身	氏	名	この欄には所属部隊の行動、戦況状況(船舶事故ならその状 況)を詳しく書いて下さい (特に場所、年月日を被らさない様にして下さい)	
同右現住所	新地海軍(争部)			新地海軍(争部)		
本人 入隊の かた から 何 時 に 入 隊 した か を 記 入 し て 下 さい	本人は昭和十九年九月一日入隊 以来馬場新地海軍(争部)に行動して 居る事を承知するに付、 御記入下さい			主、食糧運搬工員として居、 昭和十九年九月一日入隊		
戦死者でしたらその 状況を本欄に記入し て下さい (死亡名を記入して下さる病)	死 因 戦死 死亡年月日 昭和十九年九月一日 死亡の場所 馬場新地海軍(争部)			死 因 戦死 死亡年月日 昭和十九年九月一日 死亡の場所 馬場新地海軍(争部)		
行方不明ならばその 状況を記入して下さい	原因 不明 年月日 不明 場所 不明			原因 不明 年月日 不明 場所 不明		
他に 知る 方 の 住 所 氏 名 を 記 入 し て 下 さい	新地海軍(争部)新地 海軍(争部)			新地海軍(争部)新地 海軍(争部)		
備考	現認奉 元新地海軍(争部)新地海軍(争部)					

50

天九兵農

在名作或同義詞
爾達爾 爾雅四隻

海防廳 以下 文度

此後年九月十六日
今日二月三日
約四月十日
各處均有代售
一在命中的順

卷之六

釋太願堂

21-07-05

1000

Chen et al.



滋陽縣志

十月十五日送付

第五十一節 備序

海軍口算練習帳

報告者ノ本籍地及ビ現住所

3

42

右兩名と五雲いかり瀧たきののり水みづ整ととのふふ同どう一いつ勤しん智ちふふここみみふふくく増ぞう愛あい丸まる使しで

協定することにより、五一 関係者及び一部施設者と仲良くして
昭和二年

六月五日アライド岸に於て敵艦の攻撃を受け沈没
翌夜好香島に救助

脚車艇は、片岡灣に川をたぐり、所名きに見る、さ、
叙孔確實

$$\frac{12}{15}$$

④ 症 書 者 以 有 者 大 郁 丸 時 時 上 上 天



24.10.17

甲

現況不明者究明調書

(調査期日 10月17日)
(場所 山北世北)

姓名索引	部	隊	等級・身分	氏名
五十一	二	一	一等	[Redacted]
出身府県	所管復員局	方	面	入籍部数・軍籍は陽造元
[Redacted]	二・横・奥・佐(部)	千	島	[Redacted]
申告事項	博覧九、復員九、北千島 20.8.8 戦死 (博覧九復員九、北千島) 20.8.1 公設 210 部			
申告者	住	所	職	氏名
復員者	住	所	部隊等級	氏名
	[Redacted]		五十一	[Redacted]
			二	[Redacted]
調査官	上記 [Redacted] 氏は山北人、如 申告者の実名は 確実性あり。			
所見	舞復人			

舞鶴地方復員務處理部

1. 本調書は甲一、乙三を調製する
2. 甲一……総べて調査官にて記入し(鉛筆書にて可) 舞復人に送付する
3. 乙三……舞復人にて甲一により三通調製
調査世話課へ一通
所管復員局へ一通
同 世話課へ一通(復員局経由)
4. 炭欄は舞復人で記入する

99-10

① 現況不明者究明調書 (調査期日 年 月 日) (調査場所 所)

三 三 六 號	姓名索引	部	隊	等級・身分	氏名	
	61頁	51	警	上	曹	
	[Redacted]					
	出身府縣	所管復員局	方	函	入籍番號・軍屬扶養證元	
	[Redacted]	二重・横・奥・佐・	④			
舞鶴地方復員殘務處理部	申告事項	甲 2月18日博愛会で戦死				
	申告者	家族	住所	籍	氏名	
	復員者	住所	所	部隊等	氏名	
		[Redacted]	[Redacted]	少尉	[Redacted]	
昭和 十月 四日	調査官	世話 戦死の事と最理王崎				
	調査所 見入	2月18日戦死 北千島 2月18日公表 山崎				

1. 本調書は甲號一、乙號三を調製する
2. 甲號……總べて調査官にて記入し(鉛筆書に可) 舞復人に送付する
3. 乙號……舞復人にて甲號により三編調製
調査世話課へ一通
所管復員局へ一通
同 復世話へ一通(復員局無由) } 送付する
4. ※欄は舞復人で記入する

乙

現況不明者究明調書

(調査期日 12月12日) (場所 新潟市) (調査員 新潟市調査員)

姓名	部	隊	等級・身分	氏名
6/10	五	一	警	中
[Redacted]				
出身府縣	所管復員局	方面	入籍番號・軍局は照会	
[Redacted]	二・横・奥・佐・田	千島	[Redacted]	
市町村	昭和21.6月3日自命同一部隊の第一高射隊であり は警二小隊自命は第一小隊であった 同年6.1日右隊が陽の隊と小隊より一先発隊として高射 隊と警二小隊より [Redacted] の隊に 同年6.6日青森縣田名部に到着して後入った情報に依り 現隊警理の隊に在りたるは同年6.6日頃の便所(姓名不明)で お湯の熱い通戦に在りたるであった 自命の属していた第一小隊から現隊警理の隊に在りたる [Redacted] 中 その時戦死し既に報告済である 上記の通り戦死の確実と思はれるが尚詳細は当時警二小隊の 先任下士であった上中 [Redacted] (姓名不明)につき調査されたい 明瞭に思ふ			
家族	住	所	部隊	氏名
住	所	部隊	氏名	
[Redacted]	[Redacted]	五	一	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	上	中	[Redacted]
調査官	中隊の通戦に確実と思われるが [Redacted] 中につき調査 を要す			
無復員人	[Redacted] 為警二小隊より 得難と推定する			

新潟市調査員 調査員 調査員

調査官 調査員

1. 本調査は甲隊一、乙隊三を調査する
2. 甲隊……總べて調査官にて記入し(鉛筆書にて可)無復員人に送付する
3. 乙隊……無復員人にて甲隊により三通調査
調査世話課へ一通
所管復員局へ一通
同世話課へ一通(復員局経由) } 送付する
4. 本調査は無復員人で記入する